

【フリートーク:第三次環境基本計画の検討状況について】

市で取り組むすべての環境施策の基となる重要な「環境基本計画」は、本年度で「第2次環境基本計画」に基づく様々な施策実施が終了し、現在明年度からの「第3次環境基本計画」(以下“計画”と記す)の策定作業が始まっています。計画立案に際し、市民参加で討議する市民ワークショップがすでに4回開催(全5回)されており、今回のフリートークはそうした計画立案の状況説明とひろば会員の意見交換でありました。

計画(案)は2050年のあるべき姿を見据えて、2030年までの到達目標を設定し、その目標達成のための施策・活動を設定するものです。

市より説明のあった計画(案)では、2050年までの社会情勢、国分寺市の特性等を考慮した上での基本戦略を戦略1「ゼロカーボンと持続可能な社会の実現」、戦略2「生物多様性の保全と自然共生の実現」、戦略3「安心・安全で健康な生活環境の実現」の3つの戦略とこれら戦略の基盤となる戦略0「国分寺の環境を次世代につなぐ基盤づくり」、の4つの戦略を設定し、その戦略目標を実現するための施策方針を決め、具体的施策が今後実施計画として展開されていきます。

環境ひろばでは、主に上記戦略2.に関する意見交換が求められました。計画(案)によれば、2050年の国分寺市は、生物多様性の保全と自然共生が実現しているまちであるべきであり、そのためには、2030年の国分寺市は「緑と水と多様な生き物が共生するまち」でなければならないという姿が示されています。また、それを実現するために必要な施策の基本方針は、1)生物多様性の保全と自然共生が可能な施策の実施、2)エコロジカルネットワークの形成がなされている状態を創り出す施策実施、3)生物多様性の理解と浸透が行き渡っているよう施策実施、というものでした。短い時間の中で、この壮大なテーマを討議することは大変でしたが以下の意見がだされました。

- ・化学物質(PFOS、マイクロプラスチック)などこれからの世代に影響を与えるものに対する対策を十分検討してもらいたい。
- ・生物多様性とかグリーンネットワークなどの用語で施策方針が記述されているが、それらが具体的にどのようなことであるのか実現した姿を提示するなどして、市民に解りやすい表現を考慮してもらいたい。
- ・子供の健康のためにも、自由に遊べる自然の場所を確保する計画を考えてほしい。
- ・野川の改修は生物多様性を具体的に実現する格好のケースである。早期の改修実現を期待したい。
- ・生物多様性の在り方を明確に定義した戦略、施策を立案することを考える必要がある。

今後、市民ワークショップなどで市民の意見を聞き、計画が決定されていきます。市民の意見を計画に反映させる仕組みとしてのワークショップです。積極的な皆様の参加が待たれます。



ワークショップの様子

第5回(最終回)環境基本計画市民ワークショップ開催 ★ご参加お待ちしております。

日時: 8月17日(土)午前10時から12時30分 場所: 市役所第一庁舎3階

定員: 30人(申込制) テーマ: 具体的な取組・目標設定など ※詳しくは8月1日号市報に掲載します。

【第九小学校環境授業】



現地を観察する児童たち

6月7日第九小学校4年生児童と、姿見の池緑地にフィールドワークに出かけました。1時間はスライドを見ながら九小学区で自然環境の豊かな場所と姿見の池緑地の概要を学び、2時間使って現地フィールドワークを行いました。

地下水を集めて姿見の池に送っている JR 武蔵野線下のポンプ場を確認し、湧水と表示されたマンホールを辿りながら姿見の池緑地に到着しました。

現地では、この時期に見られる動植物 20 数種を掲載したワークシートを手掛かりに、たくさんの生物を見つけました。「スタンプラリーのような感じがしてどんどん見つけた

くなった」と感想に述べていました。最高のサプライズは、アオサギの飛来に出会えたことでした。大きなカラスの鳴き声が聞こえたかと思ったら、それはアオサギの声でした。大きく羽を広げ飛んできて、池に着水、池を悠然と歩いて移動し、その後、羽を広げて羽ばたいていくという連の動きを見ることができました。

さらに、日影山北側斜面から池に移動するカワセミを子どもたちが目撃し、息を殺しながらじっと見入っていました。シオカラトンボ、トカゲ、カマキリ、コナラ、クヌギ、ホタルブクロ・・・発見するのに夢中でした。落ち葉などの集積所や表示板も確認し、ボランティア団体が保全活動をしていること、姿見の池緑地でのマナーなども学びました。「虫は好きじゃなかったけど興味が出てきた。」「これから、たくさんの生き物を観察しようと思う。」「家族に教えたなら行きたいというのでいっしょにいったら、感動していた。」「体全身で自然を感じられた。」九小では姿見の池緑地をフィールドに環境学習を始めてから7年になります。4年生になったらこの学習ができることを子どもたちはとても楽しみにしているのです。

(第九小学校コミュニティスクール協議会委員・環境ひろば会員 鈴木まき子)

【西町5丁目樹林地と第八小学校の学習支援】

私有地・市有地・公有地で構成される西町5丁目の樹林地は、重要天然記念物の樹木と中藤新田分水の胎内堀があり、自然と歴史を感じる樹林地です。クワ・ヤマザクラ・タケなどの日常生活に利用される屋敷林のおもかげや、コナラ・シラカシなど武蔵野の雑木林が残り、希少植物が見られ、カッコウ・ウグイスの鳴き声やアオゲラ(キツツキ科)の木をつつく音が聞こえる樹林地です。

最近では気候変動の影響か、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によりコナラが枯れ、常緑樹のシラカシの早期の落葉など心配なことはありますが、市の整備が始まり、子どもたちが日常的に入れる樹林地として変化すると期待しています。

第八小学校の3年生の環境学習の支援では、季節ごとの樹林地を観察、木々の樹形・幹・葉の形・色の違い、花の咲く様子、常緑樹と落葉樹の違いを学び、春の緑の芽吹き、秋の紅葉・落葉・種の移動、冬の冬芽・萌芽を見て、生物多様性・生態系保全と共に植物や樹林地の大切さを知ることができます。多くの市民に知ってもらうため、保護者の講習会も始めました。

(環境ひろば会員 浅原和美)



アカメガシワ

環境ひろばのお知らせ

8月18日(日)午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室(戸倉1-6-1)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

(あしがき)

国分寺市は、多摩地区の緑と都市居住区の間位置する豊かな水と緑に恵まれた住宅都市です。都市化の激しい変化は2040年まで続くでしょう。どのように緑と水の豊かなこの環境を守ってゆくか、それは極めて難しい課題です。皆が考え話し合い、最適な解を見出さなければなりません。ひろばに参加ください。話し合いましょう。(佐藤)

国分寺市環境ひろば 事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL:042-314-9005(直通)

FAX:042-323-9060

Eメール:machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp